



災害時、私たちにできること

～防災に女性の視点を～

【開催日・場所】 令和7年10月25日(土) 松山市北条公民館
令和7年11月22日(土) 鬼北町愛治小学校
令和7年11月27日(木) 鬼北町近永公民館

講師：小國恵子さん（日本防災士会愛媛県支部 支部長、女性と防災の会 代表）

男女共同参画の視点で地域防災を考える講座を開催しました。過去の大規模災害発生時に開設された避難所では、更衣室がない・授乳室がないといった問題が多く見受けられました。これについて講師の小國さんは、防災計画策定や避難所運営に女性が参画することの重要性を指摘し、年齢・性別問わず誰もが被災者となることを想定して、多様な視点を取り入れて災害に備えることが大切であると説明されました。

また、多くの避難所で劣悪な環境となってしまったのがトイレです。避難所のトイレは避難者の数に応じて用意するだけでなく、設置する場所や水を使えない状態での衛生環境にも注意することが必要です。小國さんは「災害時の排泄問題はすべての人が直面する。水や食糧の確保も大事だが、まずは誰もが安全・安心に使用できるトイレをつくること」と、参加者に訴えかけられました。講義後半には参加者同士で協力して行う段ボール簡易トイレの作成ワークなども行い、一人ひとりの防災意識を高めることができた講座となりました。

